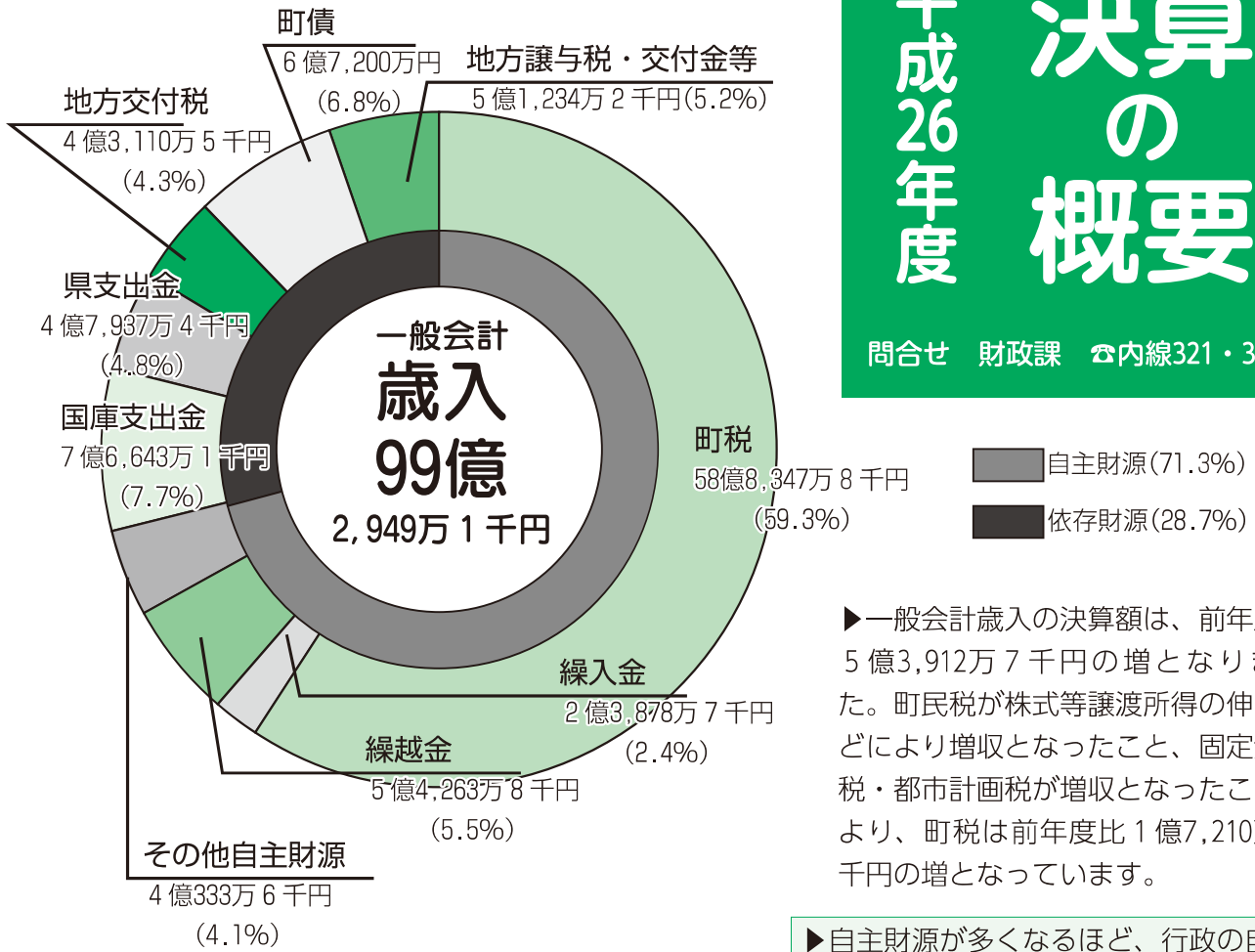


平成26年度 決算の概要

問合せ 財政課 ☎内線321・322



▶一般会計歳入の決算額は、前年度比 5億3,912万 7千円の増となりました。町民税が株式等譲渡所得の伸びなどにより増収となったこと、固定資産税・都市計画税が増収となったことにより、町税は前年度比 1億7,210万 7千円の増となっています。

▶自主財源が多くなるほど、行政の自主性・安定性が確保できるようになります。

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	40億2,955万 4 千円	38億2,273万 5 千円	2億681万 9 千円
後期高齢者医療	9億1,171万 7 千円	8億4,394万 2 千円	6,777万 5 千円
介護保険	26億5,909万円	25億5,462万 1 千円	1億446万 9 千円
下水道事業	12億6,567万 4 千円	12億1,609万 2 千円	4,958万 2 千円

特別会計

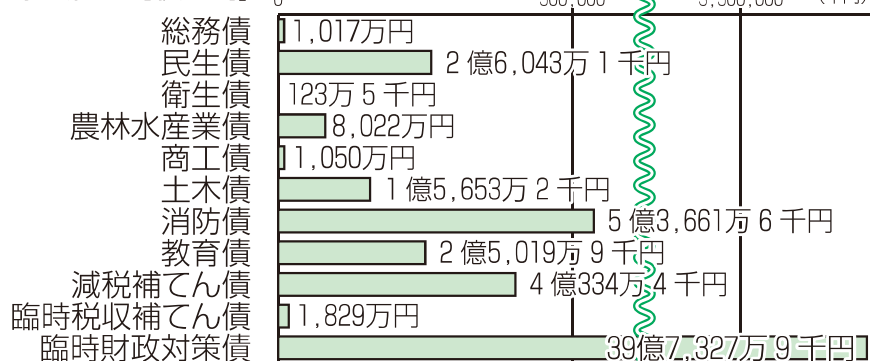
▶特別会計の歳入合計は、88億 6,603万 5 千円、歳出合計は84億 3,739万円で、差引額は 4億 2,864万 5 千円となりました。

町債の状況

▶町債とは、町が大きな建設事業などを行うために、国や銀行などから長期にわたって借りるお金のことです。

▶特別会計を含めた町全体の会計で見ると元金償還額の範囲内で町債を発行している状況にあり、プライマリーバランスが保たれています。

【一般会計 町債残高】

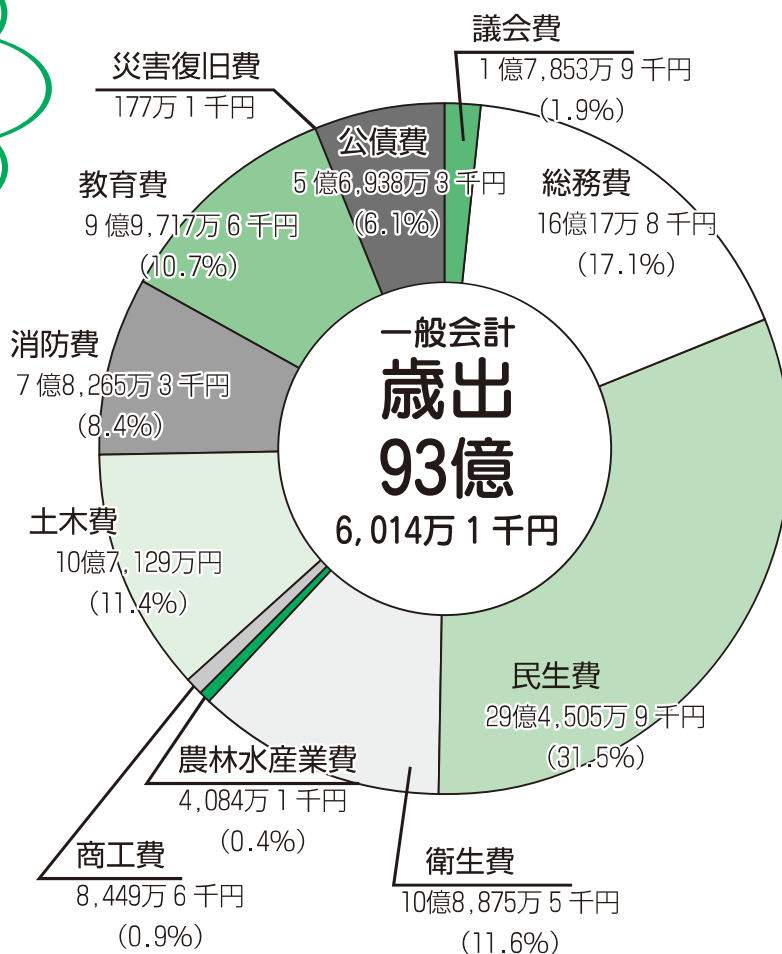


【下水道事業特別会計 町債残高】 81億9,168万 5 千円

少子高齢社会の進展に伴い、民生費（子育て、障害者・高齢者福祉にかかる経費）の割合が、この10年間で1.5倍近くに増えました。



- ▶一般会計歳出の決算額は、前年度比5億1,241万5千円の増となりました。
- ▶物件費が、し尿収集方式の変更により、し尿収集・運搬処理委託がなくなり、1億7,813万3千円減となりました。扶助費は、臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の支給により1億705万3千円増となりました。詳しい歳出の性質別の状況は町HPから見るができます。



健全化判断比率	葉山町	早期健全化基準	昨年度との増減
実質赤字比率	—	14.15%	—
財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	赤字になっていない		
連結実質赤字比率	—	19.15%	—
財政規模に対して、特別会計を含めた全会計が出した赤字額の割合	赤字になっていない		
実質公債費比率	0.0%	25.0%	△0.4%
財政規模に対して、借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合			
将来負担比率	—	350.0%	—
財政規模に対して、将来支出する財政負担の割合	算定されない		

財政規模 (標準的な状態で見込まれる一般財源)	6,698,540千円	
----------------------------	-------------	--

資金不足比率	葉山町	経営健全化基準
下水道事業特別会計	—	20.0%
下水道事業特別会計の事業規模に対する資金不足額の割合	資金不足になっていない	

事業規模 (使用料収入)	237,943千円	
-----------------	-----------	--

健全化判断比率

- ▶地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、五つの指標を公表します。葉山町の平成26年度決算に基づく各指標の算定結果は、いずれも基準を下回っています。
- ▶健全化判断比率が一つでも基準以上となった場合は、財政健全化計画を議会の議決を経て策定、公表するとともに県知事に報告します。



平成26年度の町の決算の詳細は、町HP「葉山の町政」というページからも確認することができます！